

[トップページ](#) > [香美市教育委員会](#) > 教育長だより 物部川



教育長だより 物部川

[通常ページへ戻る](#) 更新日:2021年7月14日更新



早いもので教育長就任から6週間が経過し、この間、6月定例市議会、学校訪問、教育委員会定例会、校長会、香美市教育振興基本計画推進委員会等々多方面にわたる会議や各種事業が開催されました。コロナ禍でのこともあり規模を縮小するなど形態を変えて実施することもありましたが、子供たちの意欲的に学ぶ姿に勇気づけられ、また、多くの方々との意見交換を行う事が出来ました。

皆様方が、香美市の教育の一層の発展のためにご支援ご協力くださっていることを実感し、皆様方と共に私なりの「進取開明」の気概を持ち使命を果たしてまいりたいという思いを強くいたしました。

その取り組みの一つとして、ホームページに教育長だより「物部川」を掲載し、香美市教育の推進について発信することいたしました。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

教育長として重点的に取り組む内容について

コンセプト; 郷土を愛し、未来を拓く人づくり

◇ 安心・安全な教育環境のもと

—「明日もここで学びたい」「安心安全な居場所づくり・絆づくり」—

1 探究の学びの充実

—探究の学びでつなぐ保幼と小中の連携・小中一貫教育の実現、地域とともにある学校づくり—

2 子供たちはもとより市民のみなさんが、「学び、集い、安らぎ、創る」新市立図書館の建設

○念願のプロジェクトチームが立ち上がります。

3 ICTを活用した教育環境の整備と教育内容の充実

—ギガスクール構想の推進—

4 人を育てる組織運営

—学校グランドデザインの仕立て直しと運営、メンターチーム会の充実—

繁藤山くずれ殉職・殉難者追悼慰霊祭が繁藤災害哀悼の広場でとり行われました

7月5日月曜に繁藤災害哀悼の広場で執り行われた繁藤災害殉職・殉難者追悼慰霊祭に参列してまいりました。追悼慰霊祭に先立ち、香長小学校と鏡野中学校の児童生徒の皆さんが、黙禱ののち、千羽鶴の奉納と災害により犠牲となった方々への哀悼の意並びに、繁藤災害を風化させることなく人の命を守る取り組みに生かしていきますという思いを西岡遺族会会長様やご遺族の前でしっかりとお伝えしてまいりました。西岡会長様からは、繁藤災害のことを風化させずに学び継いでほしいというお言葉とともに、子供たちや学校の取り組みを心強く思っておりますというお話もいただきました。追悼慰霊祭は、50回忌を迎え一つの節目を迎えたのですが、市域の9割を森林が占める香美市においては安全教育等の一環として、今後も大切に教育の中で学んでいってほしいと願っています。

3日には静岡県熱海市で大規模な土石流が発生し、救助活動の様子が連日報道されています。心よりお見舞い申し上げます。

子供たちの姿や歓声は町の未来を元気に明るくしてくれます

梅雨晴れのある日のことです。山田小学校の子供たちの明るい声が香美市庁舎2階の教育長室に聞こえてきました。急いで駆け下りていきました。1年生の子供たちでした。私「なにしてるの？」1年生「生活(科の活動)」私「どこに行くの？」1年生(指さしながら)「あそこの飛行機公園」「滑り台とかあるがで」「ほかにもあるで」……と話していると、列が前進し、子供たちは楽しそうに先生たちと一緒に駆け足で公園に向かいました。

後で校長先生や地域の方から、地域の方が同行して子供たちの見守りをしてくださっているというお話も伺いました。

子供たちの姿や話し声で庁舎周辺がぱっと明るくなりました。

山田小学校だけでなく、それぞれの学校が、それぞれの学年の学習内容に応じて体験的・探究的に学ぶために、地域に出かけています。大勢の市民の皆様「よってたかって育てる教育」を推進していただていることに深謝いたします。